

令和6年広審第10号

裁 決

貨物船A消防船B衝突事件

受 審 人 a

職 名 A船長

海技免許 四級海技士（航海）

本件について、当海難審判所は、理事官上羽直樹出席のうえ審理し、次のとおり裁決する。

主 文

受審人aの四級海技士（航海）の業務を1か月停止する。

理 由

（海難の事実）

1 事件発生 of 年月日時刻及び場所

令和3年7月5日17時21分僅か過ぎ

福山港

2 船舶の要目

船 種 船 名	貨物船A	消防船B
総 ト ン 数	498トン	19トン
全 長	75.43メートル	19.35メートル
機関の種類	ディーゼル機関	ディーゼル機関
出 力	735キロワット	610キロワット

3 事実の経過

(1) 設備及び構造

Aは、平成7年1月20日に進水した船尾船橋型鋼製貨物船で、船橋前部中央に操舵スタンド、その右舷側に機関遠隔操縦装置、左舷側にGPSプロッター及びレーダー2台をそれぞれ備え、船首端から63.50メートル後方、右舷舷側から2.95メートル左方の船橋上部にGPSアンテナを設置し、船橋後部左舷側に海図台を設け、船橋後部右舷側にファクシミリが装備されていた。

(2) 本件発生に至る経緯

Aは、a受審人ほか3人が乗り組み、スクラップ1,020トンを積載し、船首3.0メートル船尾4.0メートルの喫水をもって、令和3年7月5日17時10分福山港一文字岸壁を発し、岡山県水島港に向かった。

a受審人は、GPSプロッター及びレーダー1台を作動させ、出港操船に引き続いて単独の船橋当直に就き、操舵スタンド後方に立った姿勢で福山港北部を南下し、17時18分半僅か過ぎJFEスチール福山港新涯導灯（前灯）（以下「新涯前灯」という。）から056度（真方位、以下同じ。）420メートルの地点で、針路を175度に定めて自動操舵とし、機関を港内全速力前進にかけ、9.2ノットの速力（対地速力、以下同じ。）で進行した。

a受審人は、転針地点まで時間があると判断し、関係各所にファクシミリの送信を始め、17時19分半僅か過ぎ新涯前灯から097度370メートルの地点に達したとき、箕沖1号護岸（以下「1号護岸」という。）まで390メートルとなり、その後1号護岸に向首して接近する状況であったが、転針地点に接近するまでにファクシミリの送信を終了させることができるものと思い、目視で

福山港分岐第3号灯浮標との相対位置関係を確認するなど、船位の確認を十分に行わなかったため、この状況に気付かなかった。

a 受審人は、転針地点を通過して1号護岸に向首して続航中、17時20分僅か過ぎ新涯前灯から119度440メートルの地点で、船首至近に同護岸を認め、手動操舵に切り替えて左舵一杯として左転を始め、機関を全速力後進にかけたものの、及ばず、17時21分僅か過ぎ新涯前灯から133度630メートルの地点において、Aは、船首が118度を向き、4.3ノットの速力となったとき、その船首が1号護岸に設置された浮き栈橋（以下「浮き栈橋」という。）に係留中のBの右舷船尾部に、ほぼ直角に衝突した。

当時、天候は曇りで風力2の南南西風が吹き、潮候は上げ潮の中央期にあたり、視界は良好であった。

また、Bは、船体中央部に操舵室を配した軽合金製消防船で、船首1.0メートル船尾1.5メートルの喫水をもって、同日10時00分浮き栈橋に船首を208度に向けて左舷着けで着栈し、無人の状態に係留していたところ、前示のとおり衝突した。

衝突の結果、Aは球状船首部に凹損及び擦過傷を、Bは右舷船尾部外板に凹損を伴う擦過傷等を、浮き栈橋は渡橋に折損等をそれぞれ生じたが、のちいずれも修理された。

（原因及び受審人の行為）

本件衝突は、福山港において、水島港に向けて航行する際、船位の確認が不十分で、1号護岸の浮き栈橋に係留中のBに向かって進行したことによって発生したものである。

a 受審人は、福山港において、水島港に向けて航行する場合、1号護岸の浮き栈橋に係留中のBに衝突することのないよう、目視で福山港分

岐第3号灯浮標との相対位置関係を確認するなど、船位の確認を十分に行うべき注意義務があった。しかるに、同人は、転針地点に接近するまでにファクシミリの送信を終了させることができるものと思い、船位の確認を十分に行わなかった職務上の過失により、1号護岸に向首している状況に気付かないまま進行して同護岸の浮き桟橋に係留中のBとの衝突を招き、A及びB両船並びに浮き桟橋にそれぞれ損傷を生じさせるに至った。

以上のa受審人の行為に対しては、海難審判法第3条の規定により、同法第4条第1項第2号を適用して同人の四級海技士（航海）の業務を1か月停止する。

よって主文のとおり裁決する。

令和6年8月21日

広島地方海難審判所

審判官 井 手 則 義